

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

次号194号
平成31年2月15日発行

12月13日
メ切

かすかの
写真募集
します

平成30年

9月定例会



No.
193

Contents

- 2 9月定例会での議案審議
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 平成29年度一般会計決算認定
- 9 15人の議員が一般質問
- 13 9月定例会の視点・論点
- 14 議会報告会を開催しました
- 16 きかせて！あなたの未来

「ボクも消防士」

昨年度消防フェアにて
撮影 増田哲子さん(大和町)
撮影者の紹介はP16へ

ラグビーワールドカップ2019™ 練習場周辺の環境整備

ラグビーワールドカップに向けて、練習場である白水大池公園多目的広場周辺の環境を整備する。春日市では、アイルランドチームと敗者復活予選優勝チームが公認チームキャンプ地として、練習などを行う。

問 定期的な利用や使用料の減免など側面的な支援ができないのか。

答 できるだけ練習できるように配慮はしているが、1年の実績後に定期的な利用について検討したい。減免は最初から要件に当てはめることは難しく、今回補助という形で整理している。

問 補助金ありきの運営費ではないのか。

答 ファンクラブを立ち上げ、企業・団体などからの協賛金は目標を達成していると聞いている。自分たちで運営資金を集める努力は十分されているが、チームが強くなるほど遠征費などがかさみ、当面3年間程度は補助が無いと厳しいと考えられるため、スタートアップの補助金として予算措置する。

問 多目的広場付近のトイレ改修は、バリアフリー化の検討も含めて今後設計するということだが、増設の考えは。

答 改修はあくまで設備などの老朽化への対応である。ラグビーワールドカップのキャンプ期間中は観客が増えるため、仮設トイレの設置を検討している。

定例会での質疑のうち2～4ページで
主な議案についてご紹介します

インターネットで録画配信しています **春日市議会** 検索

問 コンビニ交付サービスの開始に伴う費用対効果は。

答 証明書のコンビニ交付が進めば、休日夜間における市民サービスが向上するとともに、将来的には市役所窓口の委託料の軽減など経費削減の効果も見込めると試算している。

問 印鑑証明書は複写できない特殊な用紙だがコンビニ交付サービスでは。

答 市役所の改ざん防止用紙と全く同じものではないが、コンビニエンスストアなどが発行する改ざん防止用紙で出力される。

問 交付対象証明書の選定基準は。

答 窓口で利用頻度の高いものを選定した。29年度実績での年間発行枚数は、住民票約6万3千枚、戸籍証明約2万6千枚、印鑑証明約3万4千枚、納税証明と課税証明約2万5千枚で、これらがほぼ市民が取る証明書なので、これをカバーしようという考えで選定した。

採決にあたっての討論

反対 吉居 恭子 議員

証明書のコンビニ交付サービスは、制度導入以来多くの問題を抱える個人番号カードを取得することが条件であり、このサービスで新たな問題が懸念される。

総務文教
委員会一般会計補正予算(第3号)
トップチーム育成補助金

福岡春日シーキャッツへ補助金支援



春日市を活動拠点とし、バレーボールのトップリーグであるVリーグへの参入を目指している女子バレーボールチーム「福岡春日シーキャッツ」に対する支援として補助金を交付する。また、(仮称)春日市トップチームの育成及び支援に関する要綱を策定し、併せて、当該チームもしくは運営母体となる団体と市との間にスポーツによるまちづくりに関する連携協定を締結する。

附帯決議

附帯決議は、委員会に付託された案件に対する執行上の要望、留意事項(条件を付することはできない)などを委員会の意思としてまとめたもの。地方自治法、条例や規則で認めたものでなく、法的拘束力はない。

なお、委員会では、本案に対して附帯決議案が提出され、討論、採決の結果、賛成多数により可決した。内容は、①春日市補助金等の交付に関する規則に基づく適正な審査に努めること。②個別の補助金交付要綱の作成に努めること。③上記について所管委員会に適宜報告すること。

問

補助金 250 万円の算出根拠は。

答

チームの 2018 年度の活動概算経費を基に、年間の運営費 1 千万円のうち 4 分の 1 程度と算出した。

9月
定例会

議 案 審 議

9月3日～9月26日(24日間)

委員会付託議案:総務文教3件、市民厚生10件、地域建設6件、決算審査特別1件

市民厚生
委員会

印鑑条例の一部改正、手数料条例の一部改正

住民票などの
コンビニ交付サービス開始へ

コンビニエンスストア、スーパーマーケットや郵便局などに設置された多機能端末機で住民票などの証明書を取ることができる「コンビニ交付サービス」を開始する。

なお、戸籍証明書の交付では、市外に住んでいて本市に戸籍がある方は、本市のシステムに利用登録申請が必要となる。

コンビニ交付サービスの
手続きには
マイナンバーカードが
必要です

コンビニ交付サービス
平成31年2月上旬開始(予定)

取得できる証明書	手数料額	
	コンビニ交付	窓口交付
住民票	250円	300円
印鑑登録証明書	250円	300円
戸籍謄本・抄本	400円	450円
所得証明書、所得課税証明書	250円	300円

地域建設
委員会

4市道路線を認定



今回認定した市道路線

2級第44号路線	県道板付牛頸筑紫野線の一部(須玖北)
第112号路線	西鉄春日原駅周辺整備事業によるもの(春日原東町)
第114号路線	
第1410号路線	



問 2級第44号路線は現在県道であり、今回の認定で市道と重複することになるが。

答 長浜太宰府線が完成すれば県道の認定は外れる。今回、長浜太宰府線を施工するにあたり、県の規定により平行する2級第44号路線を事業完了後に市が管理を引き継ぐことになっているため、今回先行して認定を行うものであるが、それまでの間、道路などの管理は県が行う。

市民厚生
委員会

保育所の指定管理者の指定

春日原・岡本保育所
現指定管理者を再指定



委員会では、2回以上の再指定であることから、指定管理者選考等委員会での選考基準とその評価が議論となり、執行部に資料を求め、慎重に審査した。

- ・指定管理者 春日原保育所 社会福祉法人春日福祉会
岡本保育所 社会福祉法人共栄福祉会
- ・指定期間 5年間(平成31年度～平成35年度)



春日原保育所

総務文教
委員会

固定資産評価審査委員会委員を
再任



固定資産評価審査委員会委員

しげまつ まさのぶ
重松 正信 氏(3期目)

任期は平成30年10月3日から3年間

固定資産評価審査委員会

固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に対する納税者からの不服を審査、決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関。固定資産の価格(評価額)が適正か否かについて審査を行う。本市では3人の委員で構成。

こんなことに使われました

平成29年度一般会計決算認定

賛成多数
認定

9月定例会では議会選出の監査委員を除く全議員による決算審査特別委員会が設置され、平成29年度一般会計決算審査が行われました。委員会では、決算書、主要な施策の成果などの資料を基に慎重な審査を行い、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

4日間にわたって審査を行いました



一般会計決算状況は？

黒字

平成29年度一般会計

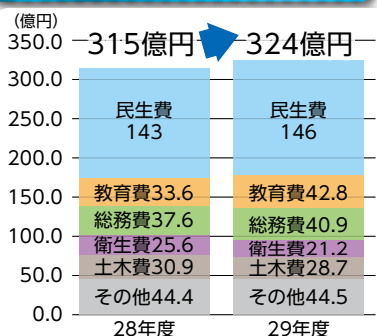
歳入総額 344億6395万円 (前年度比約11億円 増)

歳出総額 324億3213万円 (前年度比約9億円 増)

翌年度に繰り越すべき財源 3億8669万円

実質収支額 16億4512万円

目的別歳出決算状況は？



財政指標では？

経常収支比率 89.3%

比率が低いほど財政運営に弾力性があるとされ、前年度より1.9ポイント上昇(硬直化)した。臨時財政対策債の借入れを約3億円抑制したことによる。

(参考)近隣市の状況[%]

大野城市86.8 筑紫野市87.8
太宰府市92.1 県平均 92.3

決算審査のながれは？

9/26	9/3	8月	7月	6月	5月	4月	3/31
本会議採決、閉会	各議案や29年度決算を付託された委員会での審査	委員会採決	9月定例会開会	監査委員による決算監査 2人の監査委員が決算書や付属資料をもとに審査し、意見書を作成	執行部が決算書をつくる	出納閉鎖期間 3月31日までに会計年度は終わるが、4月1日以降に請求される前年度の光熱費の支払いなどの整理	平成29年度事業終了

29年度決算と
9月定例会の流れ

採決にあたっての討論

反対 吉居 恭子 議員

平成29年度決算における実質収支は史上最高額の16億円、決算時の不用額も12億円を超え、その結果、多額の予算が市民の要求に使われずに残った形となったため、認定できない。

賛成 竹下 尚志 議員

財政指標を見ても財政健全化法による4つの健全化判断比率のうち借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率が1.3%となり、前年度に比して0.6ポイント改善されている。今後とも健全で安定した財政運営が実行されるよう強く要望する。

決算審査 特別委員会での Q&A

16億円の黒字決算の要因は

問

実質収支額の黒字額が約16億円と大きくなった理由は。

答

主に市税、ふるさと納税の収入実績の増加によるもの。また、扶助費の確保や額の確定が3月補正の時期に間に合わないことも要因になる。

要望

予算の精査および適宜の補正による不用額の削減に努めて欲しい。



不登校支援は

問

不登校の実態と対応は。

答

小学校71人、中学校171人。そのうち、登校できるようになったのが36人、改善が見られたのが47人。不登校児童・生徒には、教育支援センターを中心として不登校専任教員などと連携し対応している。

教育支援センター

学習・体験活動を通して、小中学生の学校復帰を目指す助言・指導を行う。センター通級日数は、学校での出席日数として取り扱うことができる。



議会費は2億7070万円

全歳出の0.8%こんなことに使われました



議員報酬・期末手当(20人)	1億5187万円
政務活動費(議員一人あたり1万2500円/月額)	300万円
視察時の旅費、費用弁償(通勤費)	624万円
議会だよりの作成(年4回)	214万円
会議録・委員会記録の作成	624万円
会議録検索システム(ウェブサイトでの検索)	129万円

4日間にわたる審査において、質疑158項目、提言・要望57項目が出されました。ここでは、質疑、要望の一部をお知らせします。

基金の状況は

問

基金の運用方法は。

答

安全性と運用収入を考慮し、国債3割、定期預金など7割の比率で運用している。

基金残高
約100億円
(前年度比約12億円増)

市民健康診査事業は

問

検査による疾病の早期発見への成果は。



答

最新データとなる28年度では各種がん検査において受診者の3.9%に精密検査の必要性が指摘され、うち精密検査により68.8%の方が、がんもしくはがんの疑い、あるいは他の疾患と診断されている。

待機児童対策は

問

保育士不足のため保育が受けられないという実態はあるのか。また、保育士不足に対し、どのような対策を講じているのか。

答

保育需要が高い0～1歳児については、一部受け入れができていない状況。保育士の確保に向け、保育所と幼稚園合同の就職説明会を年2回開催しており、一定の効果は出ている。



平成30年4月に開園したどろんこ保育園

決算審査特別委員会での審査結果

4つの健全化判断比率では、
「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」赤字なし
「将来負担比率」 将来負担額がそれに充てることができる財源などを下回っている
「実質公債費比率」1.3% (前年度比0.6ポイント改善)

これらの指標に基づく本市の
財政運営は健全である。

どう生かされた？ 平成29年度 特別・事業 会計・会計 決算状況

付託された常任委員会において、各特別会計・事業会計の審査が慎重に行われ、すべての決算を認定しました。



高齢者のための運動教室「古希元気塾」

市民厚生 委員会

国民健康保険事業

ポイント

65-74歳の前期高齢者の割合は増加する一方で、全被保険者数は減少傾向が続く。



歳入 121億6049万円

歳出 114億9393万円

問

赤字補填のための一般会計からの繰入金が増加し、平成28年度決算額2億円から大幅減額となっているが国保財政の見通しは。

答

減額要因として、被保険者数の減少に伴う全体の医療費の減、収納率の向上による収入増、前期高齢者交付金の増、保険者努力支援制度前倒し分の交付金増がある。平成30年度は赤字とみなさない繰入のみで予算編成ができていることから、国保財政は良い方向にあると考える。

市民厚生 委員会

介護保険事業

ポイント

高齢化率20.9%。65歳以上の第1号被保険者増加傾向。(H29 2万3730人)

歳入 64億9582万円

歳出 62億9892万円

問

相談窓口である親しみやすい地域包括支援センターとするため、愛称を付ける考えは。

答

地域での認知が十分ではないことは大きな課題と捉えている。親しみやすく誰でも分かりやすいものにする貴重な提案だと考える。

市民厚生 委員会

後期高齢者医療事業

ポイント

75歳以上の被保険者数の増加傾向が続く。決算額は歳入歳出とも前年度比3.7~3.8%増加。



歳入 13億8877万円

歳出 13億1804万円

地域建設 委員会

下水道事業

ポイント

下水道施設の改築更新のため、調査診断を実施し、修繕改築計画を策定。雨水幹線掘り下げ工事を実施し、局所的な集中豪雨による浸水被害の軽減を図った。

収益的収入 23億1219万円

収益的支出 19億6870万円

資本的収入 5億5298万円

資本的支出 15億 156万円

問

下水道施設長寿命化計画はおおむね何年で完了するのか。

答

下水道施設の耐用年数は50年であるため、50年を迎える前に調査し、必要があれば修繕や改築などを実施している。古い施設から順番に調査を行っているため、何年に完了するのか見通しが立てづらいが、計画的に調査などを行っている。



9月定例会 一般質問

15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。市政全般について市長の見解を求め、市政に対する提言を行います。

いつでもどこでも

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。



	質問項目	議員名	掲載ページ		質問項目	議員名	掲載ページ
豊かな市民生活	犯罪抑止対策と街頭防犯カメラの設置	中原 智昭議員	11	快 適 な 都 市 整 備	昨今の自然災害から見た地域防災	米丸 貴浩議員	9
安心な健康福祉	高齢福祉施策	與國 洋議員	10		下水道事業計画(雨水)に基づく浸水対策	白水 勝己議員	10
	子どもの健全育成	近藤 幸恵議員			豪雨災害対策	近藤 幸恵議員	11
	高齢期の虚弱化(フレイル)予防	高橋 裕子議員	11		水害時の減災対策	西川 文代議員	
	子どもの立場にたった子育て支援	吉居 恭子議員	11		内部統制体制の整備および運用	前田 俊雄議員	9
	待機児童解消対策	西川 文代議員			庁用車の管理運営	松尾 徳晴議員	10
	放課後児童クラブの充実	西川 文代議員	12		SDGsの取り組み	高橋 裕子議員	
	障がい者支援	野口 明美議員	12		庁内業務の効率化	高橋 裕子議員	
	認知症に対して優しい地域づくりの支援	岩切 幹嘉議員	12		市庁舎の環境改善	野口 明美議員	
	不登校児童生徒への支援	川崎 英彦議員	10		補助金交付の在り方	北田 織議員	12
教育文化スポーツ 活力あふれる	小中学校のエアコン設置とその使用状況	西川 文代議員		行 財 政 計 画	市長の出馬意向と今後の市政運営	岩渕 穰議員	13
	学校における児童生徒の安心安全の取り組み	野口 明美議員					

※会議録(冊子)およびパソコンでの閲覧は市民図書館でもできます。
※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

広告付き防災情報電柱看板を 活用されては



よねまる たかひろ
米丸 貴浩 議員



問 この活用は、避難所などの表示により市民などに対する災害発生時におけるスムーズな避難行動や地域住民の防災意識向上、継続的な防災啓発に大きな効果がある。また自治体の費用負担は発生しない。広告付き防災情報電柱看板の活用への見解はどうか。

答 費用面や恒常的な情報提供など、災害に対する備えの強化、安全・安心なまちづくりへの効果も期待される。避難所標識の検討と併せて本市の特性や課題、その効果などについて研究したい。



広告付き
防災情報電柱看板

市民からより信頼される 市政運営のために



まえだ としお
前田 俊雄 議員



問 平成28年12月定例会以来、不適切な事務処理などによる不祥事を起こさないために、組織としての取り組みを訴えてきた。その基礎作りとして、これまで2回にわたって管理職・監督職対象に危機管理研修が行われているが、受講した職員の意識の変化はどうか。

答 各課・各担当の業務管理の責任者として具体的に取り組む姿勢が確認できている。一部の管理職・監督職においては既に具体的な取り組みを始めている。



地域包括支援センターの 増設・移設の考えは



よくに よう
與國 洋 議員



問 高齢者に寄り添った支援を適切に行うためにも、地域包括支援センターがより身近にあることが必要だと考えられるが、増設、移設の考えは。また現在の体制で過不足のないサービス体制と言えるのか。

答 高齢者の増加に伴う支援体制をどのように構築していくかは大きな課題であり、現在さまざまな角度から議論している。また中学校校区を1単位として南北の地域包括支援センターに管轄地区を指定し相談支援体制を整えている。



北地域包括支援センター

市バス買い替えの検討は



まつ お とくはる
松尾 徳晴 議員



問 本市はバスを職員の使用以外に、自治会などの団体にも貸し出している。大型バスは購入から30年経過し、走行距離も40万キロで故障など発生している。買い替えや利用条件などについて各団体から要望があるが考えは。

答 市バスは現在、市の関係団体の利用状況や購入した場合などの経費の積算、廃止した場合の対応策、自家用自動車と位置付けられている道路運送車両法の関係について慎重に検討している。しばらく時間をいただきたい。



下水道事業計画に基づく 浸水対策について



しろうず かつみ
白水 勝己 議員



問 どこで起きてもおかしくない想定外の短時間集中豪雨や台風などによる局所的なゲリラ豪雨対策について、本市では、どのような豪雨対策を考えているのか。

答 本市の豪雨対策は、床上床下浸水などの浸水被害の軽減を図るため、10年確率の1時間雨量68.8ミリを整備基準に定め、雨水幹線の再整備と雨水貯留施設の整備に取り組んでいる。



小倉第2雨水貯留施設

将来の社会的自立に向けた 不登校支援を



かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員



問 「不登校は家庭に問題がある。本人に問題がある」という社会通念が当事者を苦しめている。問題追及では解決しない。当事者への理解、支える社会の実現が大切で将来的な社会での自立につながる。今後の支援は。

答 基本的な柱として、1. 進学などの進路保障、2. 不登校状態からの復帰改善、3. 閉じこもりの子どもが1日でも学校に来られるようにすること。進路の支援そして就労、最後の答えは何かというところに力を尽くしていきたい。



豪雨災害対策と 大土居交差点



こんどう さち え
近藤 幸恵 議員



問 今豪雨で白水池の余水吐きから溢れた 164 万トンの水量は白水池の貯留量の 3 倍を超え、大土居交差点を水深 30 センチにさせ、車両を迂回させるなど、交通に混乱を招いた。本市は適宜、雨水幹線の掘り下げや水利組合の協力で対策を行っているが、今後の対策として白水池の貯水能力を高めるしゅんせつが必要と考える。

答 水位調整機能の向上としゅんせつも含むさまざまな観点から水利組合と協議をさせていただき、あらゆる策を考えていく。



白水池駐車場から
大土居交差点へ流れる余水

地域に街頭防犯カメラの 設置を増やすべき



なかはら とも あき
中原 智昭 議員



問 市内の犯罪や交通事故の防止・抑止対策としての街頭防犯カメラ設置に向けた、民間力導入や自治会に対しての補助金交付などについても検討すべきではないのか。

答 自動販売機の売上金で、街頭防犯カメラを無料で設置している民間業者やNPOがあることは承知している。今後他市の状況を注視しながら検討する。また、自治会街頭防犯カメラ設置補助金については、要望も上がっているため、補助金交付を前向きに検討していく。



フレイル予防をして人生いきいき 100 年構想を



たかはし ゆう こ
高橋 裕子 議員



問 より早期からの栄養・運動・社会参加の三位一体の働きかけで、人生 100 年時代へ高齢者が健康で生き生きと暮らせるためのハードソフト合わせた指針の策定が必要と考え「(仮称) 春日市人生いきいき 100 年構想」を提案したいが。

答 スケールの大きな提案と受け止める。直ちに策定するかどうか判断は難しいがフレイル(虚弱化)チェックなどフレイル(虚弱化)予防の具体的な施策はその趣旨も含め、市が実施する事業の中で工夫の検討を進めたい。



子どもの立場に立った 子育て支援について



よし い きょう こ
吉居 恭子 議員



問 平成 26 年に「子供の貧困対策に関する大綱」が策定され 4 年がたつ。実態調査はするのか。

答 実態調査の効果手法を研究中。教員が実態を把握しているので学校では行わない。

問 子どもの悩みや困り事相談について市はどう考えるか。



答 「市子ども・子育て相談センター」への児童の相談は 24 件で、周知強化の必要性がある。学校カウンセラーなど身近な相談先のチラシやいのちの電話のカード配布など、児童自身への周知をする。

放課後児童クラブ 充実の実現は



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 支援員の配置は国基準より手厚い春日市基準で欠員はないにも関わらず、現場からは不満の声が大きくなっている原因、また、チャイルドクラブは第2クラブ舎の設置の対応が必要な状況だが検討はされているのか。

答 支援員の量の課題ではなく支援する力の不足という質の課題と分析しており、指定管理者との意見交換の場において助言提案を行っている。またチャイルドクラブ第2クラブ舎は案を作成し実施計画の場で協議している。



チャイルドクラブ（須玖小）

重度障がい者（児）入院時の 支援の在り方は



のぐち あけみ
野口 明美 議員



問 重度の障がい者のうち、意思疎通が困難でかつ介護者がいない者などが医療機関に入院した場合、本人との意思疎通を十分に行う事ができる者（コミュニケーション支援員）を派遣し、医療従事者との意思疎通の円滑化を図り、福祉の増進に資することを目的とする、重度障がい者（児）入院時コミュニケーション支援事業制度導入の市長の見解は。

答 どのような支援が必要とされているかを含め、こういった支援ができるのか今後も研究する。



防犯灯事業費は全額、 市が負担すべきだが



きた だ のぼる
北田 織 議員



問 防犯灯事業は設置費用の3分の1、電灯代の2分の1を各自治会が負担し、総額約593万円になる。未加入者へ防犯灯協力金を要請してのトラブルも耳にする。安全で安心なまちづくりは市の責任で行うべきである。自治会の負担をなくし全額、市が負担すべきであると考えているかどうか。

答 昭和36年の閣議決定「防犯灯等整備対策要綱」に設置費用の一部を補助することと定められ、自治会との信頼関係で築き上げてきたので継続する。



認知症に対してやさしい 地域づくりの支援



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 認知症の方が行方不明になったときの早期発見・保護のため、洋服や靴などに貼れるQRコードが付いた小さなシールを登録希望者に配布する取り組みをされてはどうか。

答 本市は春日警察署などと情報共有に関する協力の基盤を整えているところである。導入については、慎重に研究させていただく。

問 事故などにおける日常の家族の不安解消策として民間保険を活用する支援はできないか。

答 導入については是非も含め検討していく。



会期日程 平成 30年 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2	12/3	4	5	6	7	8
	本会議 (議案説明)		本会議 議会運営委	常任委員会 (審査) 議会報委		
9	10	11	12	13	14	15
	常任委員会 (審査)		本会議 (一般質問)	常任委員会 (採決)		
16	17	18	19	20	21	22
	議会運営委 常任委員会 議会報委	本会議 (採決)				

※日程は都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

市議会の定例会や委員会では、市民のみなさんのこれからの生活に直接関わる大切な議案などについて議員が質疑を行い、慎重に審議、決定しています。

傍聴人数推移

平成29年	平成30年		
12月定例会	3月定例会	6月定例会	9月定例会
42人 0人	51人 2人	32人 1人	32人 1人

上段:本会議 下段:委員会

次期市長選挙への井上市長の
出馬意向を問ういわぶち ゆたか
岩淵 穰 議員

問

来春の次期市長選挙を迎えるにあたり、井上市長の6期目に向けた出馬へのご意向をおうかがいます。

答

次期は新たな時代の幕開けとなる本市にとっても大切な4年間となる。これまでの5期20年にわたって培ってきた市長としての経験を惜しみなく春日市に捧げていく覚悟である。従って、市政のかじ取り役として6期目を目指して次期市長選挙に立候補することとここに表明するものである。



定例会の視点・論点

議会運営委員会が9月定例会での議論になった内容をお知らせします。

1 決算審査について

「主要な施策の成果」をもとに執行部に説明を求め、各事業の目的、内容、成果を中心に、一所管に対して2時間を超える活発な議論が交わされた。事業の執行に当たり、今後に反映すべき意見も多く出され十分な審査ができたと考える。

一方では、審査の過程で決算審査にそぐわない質疑などもあり、意義ある決算審査とするためには、議会側（議員）も質疑の内容を精査し、決算審査にふさわしいかを考え発言する必要がある。



2 一般質問について

23項目の幅広い政策・施策について、15名の議員と執行部とで活発な議論が交わされた。7月の豪雨を受け、災害対策に対する質問が複数の議員からなされたが、同一項目の質問などは事前に調整する必要があるのではないかと。

また、所属委員会で説明を受け審議している議案（事案）については、再度、ルールを作るなどの改善が必要である。現状の確認にとどまる質問も見受けられたが、政策や施策の提言に努めることが望ましい。

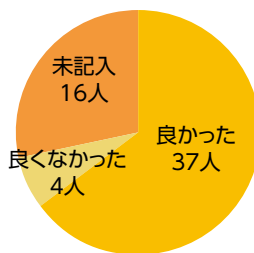


議員と語ろう

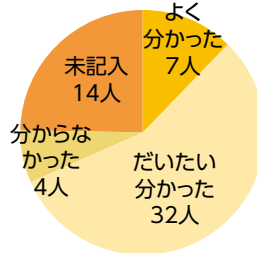
議会報告会を開催しました

期 日：10月16日(ふれあい文化センター)
17日(春日北小学校きたっぴいホール)
内 容：①議会活動報告(委員会報告)
②意見交換会
参加者：57人

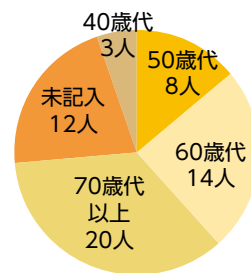
Q 意見交換会は



Q市議会からの説明や報告は



Q 年齢は



アンケートから

春日市議会では、議会基本条例に基づき、平成22年度から毎年度「議会報告会」を開催しています。今年度は10月16日にふれあい文化センターにおいて、翌17日は春日北小学校において開催しました。各委員会からの報告の後、グループに分かれ、議員が進行役となり意見交換が行われました。ご参加いただきまして、ありがとうございます。アンケート結果と頂いたご意見は取りまとめ、次号にてお知らせします。

20時30分	10分間	40分間	30分間	19時
閉会	議員が意見交換での内容を全体に発表し会場全体で共有しました	グループでの意見を発表	意見交換 ご意見は	議会報告会 当日のながれ
		グループに分かれ、議員と参加者のみなさんで自由に意見交換を行いました	議会運営委員会 議会基本条例の見直し 総務文教委員会 行政視察報告(札幌市) 市民厚生委員会 取り組み課題と行政視察の成果 地域建設委員会 空き家問題など	開会行事 議会活動の報告

市に伝える
市へ回答を求める
政策提言など

常任委員会では対応を協議
課題の洗い出し

議会運営委員会では
分野別に整理し
常任委員会に割り振り

議会報告会で寄せられたご意見は、とりまとめ議会で対応を協議し、市へ伝え、回答を求めるなど行い、政策提言や議会活動の改善に生かします。



全2日間でいただいたご意見のまとめは、次号(平成31年2月15日発行)掲載予定です。

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。
ふれあい文化センター(10/16開催)でのご意見をご紹介します。
(春日北小学校(10/17開催)分は次号でお知らせします。)



グループでのご意見を一部抜粋して掲載しています

学童保育の支援員の欠員問題は。

市議会の、委員会ごとの施策の優先順位は。

議会改革ランキングが上昇したが、市議会は今後どう取り組んでいくのか。

自治会未加入の問題はどう取り組んでいくのか。

介護予防ボランティアポイント制度のポイントの使いみちが、総合スポーツセンター、ナギの木苑の施設利用に限られるので、使用できる範囲、用途を広げてほしい。

那珂川宇美線は片側2車線になっていいが、無理なUターンをする危険性が高くなった。

今回のグループ分けはとても話しやすく良い。

障がいがある家族が不在者投票に行くのに、市庁舎の通路は遠回りになっている。障がいがある人の目線で考えて欲しい。

視察に行くとどのように生かされているのか具体的に説明を。

本会議傍聴時のアンケートにはどう生かすのか。

市民にとって水に対する心配は大きな関心事。

星見ヶ丘の子どもたちが増え、天神山小の児童数増加への対応は。

委員会傍聴時に閲覧可能な審議資料はあるが、持ち帰ることができる資料の配布もお願いしたい。

ナギの木苑の老朽化が心配。36年たつ。複合施設に建て替えては。

須玖岡本遺跡という素晴らしい文化遺産があるのに発信力が足りない。奴国の丘歴史資料館を使用してのシンポジウムなど積極的な活用を。

右側通行している自転車が、多いが、何らかの対応をしてもらえないか。



ご参加ありがとうございました。春日北小学校きたっぴいホール(10月17日開催)でのご意見、

きかせて! あなたの未来

市民の皆さんにお聞きます

vol.5



お孫さんと第58回西日本
フォトコンテスト文部科
学大臣賞受賞作品「ボク
もさかなクン」と一緒に

春日市 写真連盟 写友会 弥生

増田 哲子 さん (大和町在住)

今回は数々のコンテストで多数受賞歴
をお持ちの増田さんから表紙写真をご
応募いただきました。ありがとうございました!

表紙写真応募のきっかけは?

被写体には孫や人物をよく撮影し
ています。会の会員から募集要項の紹
介があったときに「人物が写っている
こと」がいいなと思い応募しました。

春日市のここが好き!

「かすが」、「春の日」という名前が
いいですね。大和町という名前も好き
です。春日市に住んで30年になりますが、公園、緑が多く、住みやすいと感じ
ます。奴国の王墓が発見された春日市
は「日本の夜明け」と呼ばれていいか
もしれませんね。

春日市議会のここに期待しています

子どもからお年寄り、障がいがある方が安心して
住めるまちづくりをお願いしたいです。子育て
世代の方も増えてきたと感じるので、女性が出産
後も働きやすいまちになってほしいと思います。

大和町は南福岡駅からみると春日市の入り
口でもあるので、西側改札の新設や安全に人
が行き来できる遊歩道などの利便性が高まるこ
とを期待します。

議員との意見交換は
有意義だった

一般質問は
難しかった

議会・議員
への関心が
増えました

定例会以外
の活動を見
てみたい

議会や政治の
イメージが身近なものに
感じて、もっと関わりた
いと思いました

春日市議会では、議会事務局での勤務体験
を通じ、議会のしくみや議員の活動への理解
を深め、実社会への関心を高める取り組みを
進めています。

春日市議会は
いかがでしたか?

春日市議会インターンシップ事業



編集後記

近年、文化・芸能・ス
ポーツなどさまざまな
分野で若い人たちの活
躍が素晴らしい。将棋の
藤井さん、卓球の張本さ
ん、伊藤さんや平野さん
など。普段はあどけ
ない表情。戦いの場にな
ると険しい表情。つい応
援にも力が入ります。感
心させられるのは、勝っ
ても負けてもきちんと
相手の話を聞いて受け
答えできている姿。そし
て何より物おじしない
強い精神力。二年後は東
京オリンピック。今の
若い者は「とつばやく時
代は終わったような気
がします。本市からも世
界で活躍する人材が輩
出されるよう若い人た
ちの背中を押してあげ
たいですね。がんばれ若
人! がんばれ日本!
かずひろ

議会報編集特別委員会

委員長 高橋 裕子
副委員長 白水 和博
委員 川崎 英彦
委員 岩淵 穰